

令和 6 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立栗原中学校	校長	本安 公範	生徒指導主事	元谷 源
取組事例名	『生徒会活動（生徒自治）の充実』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
生徒会執行部を中心に、生徒主体で行う自治的な取組を充実させることで、自己存在感を感じたり、自己肯定感を高めたりすることにつながり、生徒の心を耕すことにつながると考えた。リーダーの育成を充実させることで、目指すべき姿、模範的な姿を全ての生徒が意識することができ、自己指導能力を高めることにつながると考える。	相手を思いやる心を育て、共感的な人間関係を形成する。リーダーシップ、フォロワーシップをもつことで仲間とともに目標に向けて頑張るとともに、学校を自分達でつくっていくことで、自治をすることができる生徒を育てる。生徒自治の取組を充実していくことで、夢や志を抱き、自ら学び、考え、判断し、主体的に行動できる力を身に付ける。

2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫						
（１）生徒自治の取組・行事の計画や運営 <実践のポイント> ・ 目指すべき姿を教職員・生徒で共通理解を図る。 ・ 主体的に活躍出来る場面を意図的に設定する。 ・ 生徒の意見を引き出し、それに基づいた計画を推進する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組</th><th>実践のポイント</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒会活動 (生徒起案の取組)</td><td> ・ 生徒会執行部が、全ての生徒の意見を取り入れ、委員会活動ならびに学校行事において、教職員同様起案を行い、取組を実現させる。 <今年度実現した取組> ・ 生徒会執行部からの提言 ・ 教職員 vs 生徒 ソフトボール試合 ・ 栗原中学校オリジナルソング作成 ※毎月の委員会でも、生徒の意見による活動が行われています。 </td></tr> <tr> <td>各行事での 生徒自治</td><td> ・ 体育大会や文化祭といった学校行事の中で、リーダーの育成ならびに、リーダー中心とした計画・運営を行う。 </td></tr> </tbody> </table>	取組	実践のポイント	生徒会活動 (生徒起案の取組)	・ 生徒会執行部が、全ての生徒の意見を取り入れ、委員会活動ならびに学校行事において、教職員同様起案を行い、取組を実現させる。 <今年度実現した取組> ・ 生徒会執行部からの提言 ・ 教職員 vs 生徒 ソフトボール試合 ・ 栗原中学校オリジナルソング作成 ※毎月の委員会でも、生徒の意見による活動が行われています。	各行事での 生徒自治	・ 体育大会や文化祭といった学校行事の中で、リーダーの育成ならびに、リーダー中心とした計画・運営を行う。	生徒にめあてをもたせるために 【リーダーの姿を全生徒へ見せること】 ・ 生徒会執行部・各行事リーダーへの指導を充実させ、目指すべき姿を生徒へあらゆる場面で提示し、全校生徒で共有し、共通理解を図ること。  生徒の意欲を高めるために 【教職員の関わり】 ・ 生徒も全力、教職員も全力。 ・ 生徒の意見を取組に的確に反映する。 ・ 学校教育目標、生徒会スローガンをあらゆる取組に価値付ける。  生徒の頑張りを認め、価値付けるために 【肯定的評価→自己有用感をあたえる】 ・ 生徒理解をしっかりと行い、タイミングを逃さず、タイムリーな肯定的評価を行う。（生徒指導通信・掲示物の充実） ・ 教職員の関わり方や役割も取組ごとに設定し、プラスの声かけを充実させる。 ・ 生徒から生徒への肯定的な評価を全校集会や取組、行事ごとに場面を設定する。
取組	実践のポイント						
生徒会活動 (生徒起案の取組)	・ 生徒会執行部が、全ての生徒の意見を取り入れ、委員会活動ならびに学校行事において、教職員同様起案を行い、取組を実現させる。 <今年度実現した取組> ・ 生徒会執行部からの提言 ・ 教職員 vs 生徒 ソフトボール試合 ・ 栗原中学校オリジナルソング作成 ※毎月の委員会でも、生徒の意見による活動が行われています。						
各行事での 生徒自治	・ 体育大会や文化祭といった学校行事の中で、リーダーの育成ならびに、リーダー中心とした計画・運営を行う。						
（２）生徒自治へ向けての教職員の関わり <実践のポイント> ・ 教職員も生徒同様それ以上に全力で参加する。 (体育大会種目参加・文化祭教職員合唱・ステージ協力) ・ 取組成功に向けての視点や重要ポイントにおける指導。 (教え込むのではなく“気づかせる”声かけや指導) ・ 共感的な人間関係の構築。 (タイムリーな肯定的な評価 自己存在感をあたえるサポート)							

3 成果と課題

- 生徒アンケート項目『栗原が好きで愛着と誇りをもっている』では、81.0%の肯定的回答があり、『目標とされる学校・応援される生徒を意識しています』では、87.8%と高い肯定的回答がある。取組を充実させ、生徒主体となり取組んだことが、数値につながったと考えている。
- 『自分にはいいところがある』という項目が、75.4%と他のアンケート項目よりも低い数値であった。教職員は素晴らしいと評価していても、生徒自身がそれを感じることができていない課題がある。